

洲本城の歴史年表

永正・大永年間	安宅氏が洲本城を築城
1576年(天正4年)	織田信長が安土城を築城。
1581年(天正9年)	羽柴(後の豊臣)秀吉が淡路を平定
1582年(天正10年)	本能寺の変 賤ヶ岳の戦い 羽柴秀吉が仙石秀久に洲本城を与える。
1585年(天正13年)	仙石秀久が讃岐高松城主になり、 脇坂安治が洲本城主となる。
1587年(天正15年)	脇坂安治、九州攻めに参加
1590年(天正18年)	脇坂安治、小田原攻めに参加 豊臣秀吉が天下統一する。
1592年~1598年	文禄・慶長の役(朝鮮出兵)
1592年(文禄元年)	脇坂安治は、朝鮮出兵に水軍の将として参加
1596年(慶長元年)	慶長伏見地震で、洲本城が被害を受ける。
1597年(慶長2年)	脇坂安治は、再び朝鮮へ出兵する。
1598年(慶長3年)	豊臣秀吉が病死。 日本軍は朝鮮半島より撤退する。
1600年(慶長5年)	関ヶ原の戦い 脇坂安治は、西軍として出陣し、途中東軍へ 移り、東軍の勝利に貢献する。
1603年(慶長8年)	江戸幕府の成立
1609年(慶長14年)	脇坂安治は、伊予大洲へ移封。洲本城は藤堂 高虎の預りとなる。
1613年(慶長18年)	池田忠雄が淡路国を領有するが忠雄は 由良城を新築し、洲本城へは入らず。
1614年(慶長19年)	11月、大坂冬の陣
1615年(元和元年)	5月、大坂夏の陣。豊臣氏 滅亡 池田忠雄は、備前岡山へ転封。阿波徳島 城主の蜂須賀至鎮が淡路国を加増される。
1631年(寛永8年)	蜂須賀氏は、拠点を由良から洲本へ移す (由良引け) 徳島藩の家老・稲田示植が洲本城代となる。
1929年(昭和4年)	三熊山上に模擬天守を建築
1995年(平成7年)	兵庫県南部地震(阪神・淡路大震災)
1999年(平成11年)	国の史跡に指定
2017年(平成29年)	続日本100名城に認定される

洲本城のあらし

三熊山に初めて城が築かれたのは室町時代の後期で、紀州熊野水軍出身の安宅氏が土塁や柵等で造った「土の城」であったと考えられています。「本能寺の変」後の1582年(天正10年)、羽柴(後の豊臣)秀吉配下の武将仙石秀久が城主となり、四国攻めの前進基地・水軍の城として増改築が始められました。1585年(天正13年)には、同じく秀吉配下の武将の脇坂安治が城主となり、文禄・慶長の役(朝鮮出兵)の時期を含む、1609年(慶長14年)までの24年間の在城中、現在見られる洲本城が築かれ、大坂城や大阪湾、紀淡海峡を防衛する大坂城の出城としての役割を担いました。脇坂安治は朝鮮出兵の際の倭城築城の経験を活かし、山上と山麓部との間を東西二条の「登り石垣」で連結したより強固な城を築きました。

このような洲本城の歴史や、天正・文禄・慶長の各時代の石垣・石積みの変遷が見られる等の貴重な価値が認められ、1999年(平成11年)に国の史跡に指定されました。

《DATA》

所在地：兵庫県洲本市小路谷(三熊山)
 入場料：無料(天守閣へは入場できません)
 時 間：自由
 問合せ：0799-25-5820
 (洲本観光案内所 9:00~17:00)

アクセス：

徒 歩 洲本バスセンターより徒歩約40分
 マイカー 淡路島中央スマートIC・
 洲本ICより約30分



瀬戸内海国立公園

国指定
史跡

洲本城跡



標高133mの三熊山の山頂部に築かれた洲本城は、東西約800m・南北約600m・広さ278.5㎡に及び広大堅固な縄張りを持っています。天守閣等の建物は現存していませんが、縄張りや石垣等が戦国時代の城郭様式をよく残しており、保存状態も良好であることから、1999年(平成11年)1月に国の史跡に指定されました。

発行



一般社団法人
淡路島観光協会
Awajishima Tourist Association

<https://www.awajishima-kanko.jp>

2023年1月発行

